

TTC 提案山行実施記録表

2013年6月11日 報告者:江淵

山行名	西丹沢 檜洞丸(つつじ新道~犬越路周遊コース) [1,601m 神奈川県]				
実施日	2013年 6月 8日(土)		日帰り	公共交通利用	
天候/参加人員	天候:曇り時々晴れ		レベル:★★	参加人員:9名(男5名/女4人)	
パーティスタッフ	GL/計画:、SL:、会計:、救護:、写真:		スタッフ名削除		
参加メンバー	A班 ☆ B班 ☆		氏名削除	計9名	
費用 一人当たり	(内訳) <小田急> 本厚木⇄新松田 @ ¥330×2 = 660円 <富士急湘南バス> 新松田⇄西丹沢自然教室 @1150×2 = 2300円 <各自払い> 2,960円 (本厚木起点)				
歩行・		歩行時間	休憩時間など	行動時間	行動時間比(実行/計画) 1.02 歩行時間比(実行/計画) 0.92 歩行時間比(実行/ガイドブック) 0.92
	ガイドブック	6:40	—	—	
	計画	6:40	1:10	7:50	
	実行	6:06	1:54	8:00	
実行コースタイム記録					
本厚木==新松田==西丹沢自然教室——ゴウラ沢出合——展望園地——(休)—— 6:36 7:04 /7:30 8:41~55 9:45~9:58 10:45~53 11:42~11:47 0:15 0:15 0:30 0:30 0:50 0:55 ——テシノノ頭先分岐——檜洞丸——熊笹の峰——(ヒヤリ事故)——犬越路避難小屋——用木沢出合 12:02 12:17~13:05 13:35~40 15:20~35 16:30 0:25 ——西丹沢自然教室==新松田==本厚木 16:55 /17:05 発 18:14/18:25 発 18:53					
コースの概要、特記事項、反省事項等					
<p>7:05の段階で既に7:20発の始発バスが満員状態で1時間10分の乗車時間を座って行きたいとの思いでやり過ごし、7:30分の次発に並んだ。シロヤシオの盛りを過ぎたとは、言え、この時期の檜洞丸の人気は、たいしたものだと感心する。</p> <p>10分遅れとなったがスタート前に体力を消耗する事なく、長丁場を揚々として出発。「つつじ新道の入り口」標識から登山道となるが良く整備された緩やかな上りで気持ち良くゴウラ沢出合に出る。ここでひと息入れ、これからの急登に備える。ここからは、標高差850m程をひたすら登る事となる。本日、初顔合せのSKさん、MTさん、MHさんの3名は、相当に健脚らしく足取りも軽やかに快調に登っていく。日頃の運動不足を嘆くSMさんは、喘ぎながらも懸命で次第に高度を上げて行く。</p> <p>まもなく、展望台につき、2度目の休憩。ここは、かつて「展望園地」と呼ばれていた筈だがいつのまにオーソドックスな「展望台」という名称になったのだろうか? 残念ながら今日は、いまひとつ、展望が良くない。いよいよ御目当のシロヤシオの咲いているはずのエリアにやって来たが残念ながら五葉の葉っぱでしか確認できない。ピークから1週間以上、遅かった様だ。ただ散った花びらが非常に少なく、今年は、当り年では、なかったのかも知れない。それでも先へ進んで箒沢方面の分岐まで来るとシロヤシオツツジがかなり残っている木が何本もあり、またトウゴクミツバツツジやヤマツツジも数本咲いており最低限の願いは、聞き入れられた。</p> <p>やがて辺り一面コバイケイソウの中を行く木道を進むと檜洞丸山頂だ。さすがにシーズンで大勢の人がいて賑やかだ。ここは、トイレが150m下がった所にあるのが唯一、難点で息を切らせて上がってくるメンバーもいる。ゆっくりと昼食をとり、犬越路へ向って下山する。つつじ新道をピストンする人がほとんどで急に人が少なくなる。崩落した箇所が何カ所あったが階段などが設置されていて特に問題はない。</p> <p>熊笹の峰へは、笹原の中をぶなの大木を縫う様に歩く気持ちの良い道である。靄も出て来て鬱蒼とし、幽玄なぶなの森の雰囲気がいよいよいい。しばし静かで新緑のヤマ歩きを楽しみ、神の川分岐にて休憩。</p>					

しかし、犬越路までは、勾配もキツイ下りで鎖場などが何ヶ所もあり、全体としては、要注意のルートだ。ここを過ぎると霧が少し雨つぶを含む様になって来て、すぐ止みそうな雰囲気では、あったが濡れるのが嫌な人は、レインウェアを着てもらった。(2～3人が着用) 路面も少しづつ滑る様になって来た。休憩後、30分ほど歩いたところで事故が発生した。左側が谷になっている傾斜した尾根道を直進し、突当たりの崖部を右に曲がりながら急下降するポイントにて4番手を歩いていたM・Hさんが曲がり角付近で突起物(根?石?)に躓き、左手、谷方向に転倒・落下した。幸い途中の木に引っ掛かり、軽傷ですんだが重大な事故になり得る内容で発生直後は、全員がびっくりし、一瞬、凍りついた状態となった。レインウェアを着用していた事やリュックサックでワンバウンドした事、たった一本あった木に引っ掛かった事などいくつかの幸運が重なり、左手薬指、右太腿の打撲程度で済んだ。

ちょっと休憩した後、歩き出す事が出来た時は、本当に全員がホッとして胸をなでおろしたものです。本人、曰く、油断していて足元を見ていなかったのかなあと述懐。やはり、下りの坂道は、足元から目を離さず、着地点を探し、選びながら歩く事を徹底したいものです。またCLもMHさんが健脚だった事に気を取られ、登山経験の浅い事に思いが至らず、下山の注意を喚起できなかった事を反省しております。なお、アクシデントの詳細な経緯並びに今後の再発防止策等につきましては、「ヒヤリ・ハット報告書」にて別途報告いたします。

犬越路避難小屋に着く頃には、天気も回復し、路面も乾き、その後は、快調に歩く事ができました。その後は、MHさんも順調に歩く事ができ、上りでアップアップしていたSMさんも下りと平地は、強いという事で全体が計画より早い速度で西丹沢自然教室に着きました。事故対応によるロスで計画したバスへの乗車が危ぶまれましたが10分前に到着する事が出来、予定通りに新松田駅にて散会することができました。そのバスに乗り遅れると次は、2時間待ちだったのでヒヤリ事故等もありましたが妙な達成感に包まれて無事、山行を終了致しました。

<参加メンバー各位>

2回目ですつ、しばらくぶりの不慣れなCLで事故を含めて、色々、御迷惑を御掛けいたしましたがお協力をいただきまして感謝しております。ありがとうございました。

以上